

# 万博「絆」通信

Vol. 1

令和6年4月18日 発行

自見 はなこ  
国際博覧会担当大臣



齋藤 健  
経済産業大臣



私は、日々、色々な人から、万博に対する期待や熱意を伺っており、こうした声を、現場で働いている皆様にも共有したいと思い、これから定期的に、「万博絆通信」として発信したいと考えています。

開幕まで、あと1年。万博に関係する人の「絆」を大切に、万博を素晴らしいものにしてまいりましょう！

残り1年「万博に行けばどのようなものを見て、体験できるのか」という、万博の意義や中身を、関係者一丸となって発信することが重要です。

来場者、特に将来を担う子どもたちが、万博でのワクワクする体験を通じて未来に夢や希望を持つきっかけとなるような万博を皆で創りあげていきましょう。



上月 良祐  
経済産業副大臣 兼  
内閣府副大臣  
(国際博覧会担当)

来場者の皆さんに楽しく未来を感じてもらい、有意義な時間を過ごしてもらうため、準備を加速化していかねばなりません。

来場者の笑顔で、私たちも笑顔になりましょう！

世界の人々が心待ちにしている万博。開催まであと1年となり、準備も大詰めです。今までご尽力いただいた方々に心から感謝します。夢ある未来社会の景色を日本から届けましょう。



石井 拓  
経済産業大臣政務官 兼  
内閣府大臣政務官  
(国際博覧会担当)

## 【開幕1年前を迎えて】

はいはい、万博開幕まで1年となりました。

4/13（土）のイベントでは、8名のテーマプロデューサーのトークセッションや公式ユニフォームのお披露目が行われ、さらにミャクミャク初の「声出し」も披露され、万博への熱の高まりを感じました。

4/17（水）には、大阪市で「いくぞ！万博フェスティバル」が開催され、経済界から松本閣経連会長・鳥井大商会頭、地方自治体から熊谷千葉県知事・高島福岡市長、さらにチアリーディングやバンド演奏など、ナショナルプロジェクトである万博にふさわしい、多様なメンバーでのイベントとなりました。

引き続き、関係者が一丸となって万博を盛り上げていきましょう！



今週の大阪・関西万博 **週報** (4/16~4/22)  
 ~ 開催まで あと **355** 日です! ~

## 1. 海外パビリオンの状況

- 4/17 (水)、大阪・夢洲で米国がパビリオン起工式を実施。エマニュエル大使、吉村知事らが出席。公式レセプションには、自見大臣も参加。米国館テーマは「共に創出できることを想像しよう」(“Imagine What We Can Create Together”)。NASA と提携した宇宙関連の展示やハリウッド発の特殊効果を用いた没入感のある展示などを検討中。



左：起工式の様子（米国大使館より）(<https://jp.usembassy.gov/ja/us-breaks-ground-for-pavilion-at-expo-2025-osaka-ja/>)

右：米国パビリオンのイメージ（米国大使館より）

(<https://jp.usembassy.gov/ja/ambassador-debuts-usa-pavilion-design-for-expo-2025-osaka-ja/>)

下：米国パビリオン起工式レセプションの様子（X【大阪・関西万博】国際博覧会推進本部事務局（内閣官房公式）より）

([https://twitter.com/expo2025\\_cas/status/1780593759765557403?ref\\_src=twsrc%5Egoogle%7Ctwcamp%5Eesrp%7Ctwgr%5Etweet](https://twitter.com/expo2025_cas/status/1780593759765557403?ref_src=twsrc%5Egoogle%7Ctwcamp%5Eesrp%7Ctwgr%5Etweet))















